

新年のごあいさつ

ニューノーマルな時代に



八頭町長 吉田 英人

新年明けまして、おめでとうございます。


町民の皆様には、ご健勝で輝かしい令和5年の初春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町政全般に対しまして格別なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私ごとではありますが、昨年4月の町長選挙におきまして、皆様方の力強いご支援と温かいご厚情を賜り、引き続き3期目となる町政運営を担わせていただくこととなりました。改めて責務の重さを痛感しているところです。今後も就任時からのスロージャーガンである「笑顔で元氣、ともに歩むまちづくり」を基本とし、新たな4年間のまちづくりのビジョン「持

続可能で、誰一人取り残さない八頭町」の実現に向けて、町民の皆様の声に耳を傾け、各分野の施策を着実に実行していくことが、私に課せられた責務であると考えています。

さて、昨年を振り返ると、年末からの寒波により、大雪の年明けとなりました。一時期落ち着きを見せていた新型コロナウイルスでしたが、年明けから、新たな変異株「オミクロン株」の出現により再び感染が拡大し、住民の生活や活動に大きな影響を及ぼしています。また、ロシアによるウクライナ軍事侵攻は、国際秩序を大きく揺るがしただけでなく、世界経済を混乱に陥れ、日本の物価高にも拍車をかけることとなりました。そして、夏の参議院選挙前に総理大臣経験者が撃たれて亡くなるという前代未聞の事件が社会を震撼させ、まさに「絶対安心」と信じられていた我が国の価値観が大きく揺らいだ一年でもあったと思います。こうした社会状況の中、コロナ禍、円安、燃料・物価の高騰などが住民生活に大きな影響を与えていること



から、町内商店の支援、町民の皆様
の生活応援の一助になればと、6月
に町民一人当たり5千円の商品券を
配布させていただきました。さら
に、12月に今年度2回目となる商品
券「八頭町生活応援商品券」をお届
けしています。あわせて、国の補正
予算に盛り込まれた、妊婦・子育て
家庭を支援する「出産・子育て応援
交付金事業」の円滑な事業実施に取
り組んでいるところです。

暗いニュースが多かった中で、八
頭町の子どものスポーツ分野で
の活躍は、私たちに大きな感動を与
えてくれました。鳥取県少年柔道選
手権大会で郡家柔道クラブが優勝
し、全国大会出場。八頭中学校ホッ
ケー部は、全日本中学生ホッケー選
手権大会にアベック出場。駅伝部も
男女ともに全国大会出場を果たし、
激走を見せてくれました。八頭町の
次代を担う子どもたちが、今後も將
来への大きな夢や希望を持ち続け、
その実現に向かってたくましく進ん
でいけるよう支援してまいります。

文化分野では、旧安部小学校を活
用した文化・芸術の発信拠点となる
「八頭町芸術文化交流プラザ（あー
とふる八頭）」が11月3日にオーブ
ンしました。旧船岡町出身の版画家、
橋本興家氏の作品、旧八束町出身の
天文家、本田實氏の足跡の紹介、旧

郡家町出身の画家、山本虎之助氏の
作品のほか、町内で出土した埋蔵文
化財などを展示していますので、ぜ
ひご覧ください。

長引くコロナ禍にあつて、新しい
生活様式や働き方が私たちの日常生
活に定着しつつあり、そうしたニュ
ーノーマルな時代に対応し、さらに
アフターコロナ時代、未来を見据え、
持続可能で発展性を持ったまちづく
りを八頭町は進めていかなければな
りません。人口構造や社会・経済状
況が変化する中、生活の利便性・効
率性を高めるためのデジタル技術の
活用、気候変動問題に対応したカー
ボンニュートラル、国連で採択され
た誰ひとり取り残さない持続可能な
開発目標（SDGs）などへの取り
組みを進め、今を生きる私たちが未
来を生きる人たちが、希望をもって
未来に歩みを進められるよう施策を
推進してまいります。

町民一人一人が「生き生き」と輝
き、誰もが「幸せ」を実感できる、
未来に夢と希望をつなぐまちづくり
に、全力を尽くしてまいりますので、
町民の皆様のご理解とご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、新しい年が町民の
皆様にとりまして、健康で幸多き飛
躍の年となりますようご祈念申し上
げ、新年のご挨拶といたします。